

## 注 意 事 項

- DYNA2000を装着し、ご使用になる前には、必ず本マニュアルをよくお読み下さい。又、配線を接続する前には本マニュアルの配線図も併せてご参照下さい。
- 取り付けの際、モジュール本体・クランクトリガー・マグネットローターなどの加工は絶対に行わないで下さい。
- DYNA2000をご使用になる際、スパークプラグコードはサプレッションコア、スパイラルコア、カーボンコアまたは、レジスターキャップ(抵抗器)付スパークプラグコード等を使用して下さい。
- DYNA2000に使用するイグニッションコイルは、 $2.2\Omega\sim 3\Omega$ のコイルをご使用下さい。また高回転域におけるスパークエネルギーを最大限にまで引き出すにはDYNATEK社の $3.0\Omega$ コンパクトコイル(Parts No.DC1-2)との併用をおすすめします。
- レブリミットの設定に関しては、エンジンのパフォーマンスをよくご考慮いただいた上で行って下さい。エンジンの許容回転数以上の数値で設定した場合エンジンの故障の原因となりますのでご注意ください。
- エンジンによっては装着の際に、イグニッションカバーガasketの交換が必要となる場合があります。
- KAWASAKI GPZ1100F/Z1100Rモデルの中にはダイナクランクトリガーを装着出来ない場合があります。そのような場合はZ1000Jモデルのクランクシャフトエンドシールハウジングをご使用下さい。
- 車種によってはスタンダードのイグナイターユニットを経由してフューエルポンプの作動を行うモデルもあります。この場合はオートバイのサービスマニュアルを参照の上、フューエルポンプ用のスイッチを新たに増設して下さい。

## 1. 取り付ける前に

- 1A…DYNA2000デジタルパフォーマンスイグニッションキットの付属品の内容を確認して下さい。
- 1B…取り付ける前に安全の為、必ずバッテリーを取り外して下さい。
- 1C…取り付ける際、必要に応じてガソリンタンクやエアクリーナーボックスなど取り付け時に支障となる物は取り外して下さい。
- 1D…取り付ける車輛のポイントカバーを外し、さらにアドバンサー、ピックアップセンサー、イグナイターボックスを取り外して下さい。コイル、プラグコードの交換の場合はこれらも取り外して下さい。